

早期体験学習

(Early Exposure)

担当教員名:教授 金澤 治男

【概要】

医療人である薬剤師として身につけるべき“生命の尊厳”、“やさしさ、おもいやり”など豊かな人間性の涵養と、“問題発見・解決能力”の重要性を認識してもらおうと思います。

これらを通じて、個人個人の“医療人としての薬剤師の歓び、理想像”を皆さんの大きな真っ白のキャンバスに描き、これから6年間、ヒトにやさしい、信頼される薬剤師を目指して研鑽を積む第一歩を踏み出すことを期待しています。

【授業の一般目標】

薬学生としてこれから6年間の学習に対するモチベーションを高めるために、救命応急手当、ハンディキャップ体験、薬害被害者の生の声、病院・薬局見学により、将来の医療人としての自覚を高めるとともに“生命の尊厳”、“やさしさ、おもいやり”など豊かな人間性を涵養し、また、将来求められる“問題発見・解決能力”の重要性を本学の研究室を見聞することにより肌で感じる。

【成績評価方法・基準】積極性、レポートでの考察などを総合的に評価する。